

第6回 倫理委員会 議事要旨

日時：2008年12月4日（木）14：00～17：00

場所：電気学会第1～2会議室

出席者：19名

議事要旨：

1. 倫理的不適合事例の紹介

某大学で発覚した教授主導によるデータ改ざんに関する事例が紹介された。

- (1) 当該の大学では手続きが決まっていた。電気学会でも編修会議において手続きを決めておきたい。
- (2) 今回の事例に限らず世の中の不適合事例を横並びし、電気学会であればどのような手続きでどう対応するのか事前にやってみるべき。
- (3) 近頃の論文等の中には、多数の著者が連名して投稿されてくる場合がある。著作権の委譲の確認に時間がかかるだけでなく、中には連絡が取れないケースもあり、電気学会としてもどう対応するのか決めておく必要性を感じる。
- (4) 会員の資格を剥奪するなど、当事者にとって不利益な処分をするときは弁明の機会を与える必要がある。
- (5) 今回のケースは当たらないようだが、当該教授のようなリーダーである立場の人に精神的な疾患があり、正常な判断ができないケースも世の中にはあるのではないか。そうすると、個人の問題ではなく、同じチーム、周りの人の問題にもなってくる。

2. 全国大会シンポジウム

平成21年3月に開催される電気学会全国大会における倫理関連のシンポジウムについて準備状況の報告がなされた。

- (1) A部門の教育・研究技術委員会、技術者教育委員会、倫理委員会の三者共催とする。
- (2) 前半は高等教育機関で実際に技術者倫理教育に携わっておられる先生方からの実践報告をお願いし、後半は、この倫理委員会の委員の代表者にも入っていただきパネル討論とする。

3. 教育WG活動報告

3月4日開催予定の研修会やメーリングリストの立ち上げなどの活動報告がなされた。

- (1) 3月4日開催予定の研修会の企画が了承された。会告などで一般に参加者を募集することはせず、10名程度の特定の有識者で開催し、一つのテーマに1時間程度をかけて、数テーマを深く話し合う内容とする。
- (2) メーリングリストは、8月28日の研修会の参加者から要望の多かった“意見交換の場”を提供するもの。特定のメールアドレスにメールを送信すると、登録されている方々に同時にメールが配信される仕組み。

4. 広報WG活動報告

電気学会雑誌2月号に掲載予定の倫理委員会活動報告の原稿の紹介がなされた。

誤字の修正と、倫理綱領・行動規範の項目間の関係を表した図の著作権の表し方を見直して、締切日（12月10日）に投稿する。

5. 技術倫理協議会定例会および公開シンポジウム報告

- (1) 第23回技術倫理協議会の報告がなされた。
倫理的な問題が発生した場合の処分の仕方など他の学会でも取り組んでいる状況が報告された。
- (2) 12月1日に開催されたシンポジウムの報告がなされた。
基調講演において、某大学における不正行為に対する措置の明確化や、また、某学協会で実際に発生した除名、戒告、請求理由無し3つの事例の報告など、電気学会倫理委員会が取り組んでいる課題と深く関連する報告があった。
今後、適切と思われる学会とコンタクトし、より詳細に仕組みや手順など話を伺うことで調査し、電気学会としても倫理的問題発生時の手続き及び懲罰の仕方などの仕組み作りに活かしていく。

以上